

芸術文化振興ビジョン検証シート

【基本方向1】芸術文化を創造・発信する

(1) 芸術文化を担う人材を育成する

- [課題]・全国的・国際的に活躍できる芸術家の育成
 ・芸術家を育てる目を持つ観客の育成
 ・多様な人材や文化資源を結びつけ、魅力的な芸術文化事業の企画ができる人材の育成

【評価の考え方】

展開方向の目的が達成されているかを各項目ごとにとりまとめた
 : 達成した、 : 概ね達成した、 : 一部、達成できていない

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価
若手芸術家の発掘・育成 ・研鑽機会の充実、活動支援 ・顕彰制度の充実 ・コンクール、発表の場づくり	[県・県教育委員会] 県展(S46～)、鈴懸の径絵画展(S61～)、坂井時忠音楽賞(H23～)等全国的公募展の開催 兵庫県文化賞等四賞(S23～)、芸術奨励賞(H5～)等各種顕彰制度の実施 県内に拠点を有する芸術家を支援するひょうごの芸術文化育成・支援事業の実施(H18～) 新進・若手芸術家等への情報提供や発表・交流の場を提供する地域アーティスト情報発信支援事業の実施(H18～) 県立美術館で若手作家の展覧会、公開制作を行う若手作家発掘育成事業の実施(H22～) 県内各地域の芸術文化活動を支援する県域の芸術文化活動支援事業、ふるさと芸術文化発信サポート事業、地域の特色ある芸術文化振興事業の実施(H18～) [市町等] 国際的・全国的コンクールの開催 (音楽等：神戸国際フルートコンクール、こうべ全国洋舞コンクール(神戸市)、宝塚ベガ音楽コンクール(宝塚市)、全国男声声楽アンサンブルコンクール「ハモらっせ!」(三田市)、ピパホールチェロコンクール(養父市)、松方ホール音楽賞(神戸新聞文化財団)等 美術・書道等：神戸ビエンナーレ(神戸市)、尼崎市展(尼崎市)、仲田光成記念豊岡全国かな書展(豊岡市)等 地域ゆかりの人材にちなんだ独自の顕彰制度等の実施 (富田碎花賞(芦屋市)、和辻哲郎文学賞(姫路市)、柳田国男ふるさと賞(福崎町)、三木清明日の文化賞(たつの市)等	芸術家の研鑽機会の充実や活動への支援、顕彰制度の充実、コンクールや発表の場づくりなどは、県内各地域で取組が進んでいる。 兵庫県文化賞 S23～H25 (65年間) 406件 (個人360 団体46) 芸術奨励賞 H5～H25 (20年間) 114件 (個人106 団体8) ひょうごの芸術文化育成・支援事業 実施件数(H25) 85件 地域アーティスト情報発信支援事業 県民会館ロビーコンサート 年間実施回数(H25) 13回 延べ1,082人 さわやかステージ実施件数(うちサロン幹旋件数)(H25) 120件(27件) 新進音楽家演奏会の開催(H25.11.24開催) 出演者15組 入場者293人 新進美術家作品展の開催 出展人数延べ158人 入場者12,391人
芸術文化プロデューサーやコーディネーターの育成 ・アートマネージメント講座の充実 ・専門人材育成プログラムの充実 ・人材のネットワーク化	[県・県教育委員会] 新進・若手芸術家等を育成・支援するための専門のコーディネーターを配置する地域アーティスト情報発信支援事業の実施(H18～) 芸術文化センターにおける舞台技術者の育成・アートマネージメント講座の開催 [市町等] 舞台制作技術の講座や市民自らが公演の企画・運営を行う事業の実施 (ステージング基礎講座(多可町)、文化プロデューサー育成事業(福崎町)、舞台ボランティアスタッフの育成・活用(篠山市)、オペレーター養成講座(丹波市)等	アートマネージメント講座の充実や芸術文化コーディネーター等の専門人材の配置、育成に努めている。 地域アーティスト情報発信支援事業(H25) アーティストリストへの登録件数 (H15) 427(個人+団体) → (H25) 775(個人+団体) 芸術文化センターアートマネージメント講座等の開催(H25) 講座：3回 受講者数102人(近畿地区の文化施設職員等) アートマネジメント関係人材育成事業：11事業 参加者748人 (芸術系大学学生等)
教育機関の設置検討 ・専門家育成のための高度の教育機関の設置	[県・県教育委員会] 尼崎青少年創造劇場における専門的な人材育成を目的とするピッコロ演劇学校(S58～)やピッコロ舞台技術学校(H4～)の運営 県立高校における特色ある芸術系学科(音楽科、美術科、演劇科)の設置	芸術系の高校、大学のほか、尼崎青少年創造劇場における人材育成を進めている。 ピッコロ演劇学校 卒業生数(S58～H25) 1,606人(本科+研究科) 卒業後の主な活動 ピッコロ劇団員、演劇活動、舞台制作・舞台技術関係、文化行政・公立文化施設、教員等 ピッコロ舞台技術学校 卒業生数(H4～H25) 647人 卒業後の主な活動 フロースタッフ、文化施設スタッフ、アマチュア劇団員、教員等 県立高校の芸術系学科 県立西宮高校 音楽科(S58～) 県立宝塚北高校 演劇科(S60～) 県立明石高校 美術科(S58～)

(2) 芸術文化の拠点機能を高める

[課題]・全国へ発信できる芸術文化を育成するための拠点機能の強化
・県内外の芸術文化関係施設・団体とのネットワークの拡充

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価														
<p>芸術文化事業の企画・実施 ・全国・世界に発信できる公演や展示の企画・実施 ・県内外の施設・団体とのネットワークの拡充による情報発信</p>	<p>[県・県教育委員会] 兵庫陶芸美術館、県立美術館、横尾忠則現代美術館、原田の森ギャラリー、考古博物館、歴史博物館等における魅力的な企画展・特別展等の実施 県内の県立美術館・博物館6館によるミュージアムスタンプラリー（H19～）の実施 芸術文化センター、尼崎青少年創造劇場における魅力的な公演の実施 県内の博物館・史跡をインターネット上でつないでネットワークの強化を図るひょうご考古学まるごとミュージアムの開設（H19～） 播磨地域のミュージアムが集合したひょうごミュージアムフェアの開催（H23～） 地域のアートプロジェクトの連携を推進し、共同広報活動等を実施するアート de 元気ネットワーク in 兵庫・神戸推進事業の実施（H26） 日本劇作家大会 2014 豊岡大会の開催（H26）</p> <p>[市町等] 市内の様々な団体が実施している取組を連携させた国際的・全国的な事業の実施 〔神戸ビエンナーレ（神戸市）「ジャズの街・神戸」の全国発信事業（神戸市）〕 各ホール等における自主事業の実施 〔市民のためのオルガンコンサート（宝塚市）いなみ野音楽祭（稲美町）県民芸術劇場オータムコンサート（福崎町）舞台芸術制作者セミナー（豊岡市）等〕 地域ゆかりの文化資源を全国発信する事業の企画・実施 〔こうべゆかりの美術館の運営（神戸市）高砂市制 60 周年記念事業「たかさごブライダルショー2014」（高砂市）交響詩ひめじ普及事業（姫路市）等〕</p>	<p>各美術館、博物館、ホール等において、県内外へ発信できる魅力的な公演や展示を企画・実施しており、県立施設が拠点となって県内の芸術文化施設をつなぐネットワークの拡充を図っている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>入館者数（H25）（ ）は開館年度</p> <table border="1"> <tr><td>兵庫陶芸美術館（H17）</td><td>98,796 人</td></tr> <tr><td>県立美術館（H14）</td><td>731,173 人</td></tr> <tr><td>横尾忠則現代美術館（H24）</td><td>92,961 人</td></tr> <tr><td>歴史博物館（S58）</td><td>96,486 人</td></tr> <tr><td>考古博物館（H19）</td><td>155,126 人</td></tr> <tr><td>芸術文化センター（H17）</td><td>347,732 人（自主公演入場者数）</td></tr> <tr><td>尼崎青少年創造劇場（S53）</td><td>130,247 人</td></tr> </table> <p>芸術文化センターにおける佐渡裕監督プロデュースオペラ・コンサートの公演 H17～ 9作品 入場者 179,045 人</p> </div>	兵庫陶芸美術館（H17）	98,796 人	県立美術館（H14）	731,173 人	横尾忠則現代美術館（H24）	92,961 人	歴史博物館（S58）	96,486 人	考古博物館（H19）	155,126 人	芸術文化センター（H17）	347,732 人（自主公演入場者数）	尼崎青少年創造劇場（S53）	130,247 人
兵庫陶芸美術館（H17）	98,796 人															
県立美術館（H14）	731,173 人															
横尾忠則現代美術館（H24）	92,961 人															
歴史博物館（S58）	96,486 人															
考古博物館（H19）	155,126 人															
芸術文化センター（H17）	347,732 人（自主公演入場者数）															
尼崎青少年創造劇場（S53）	130,247 人															
<p>芸術文化情報の県内外への発信 ・人材情報や公演や展覧会等の情報、発表や練習場所等の情報を県内外へ発信</p>	<p>[県・県教育委員会] 各施設の HP や関西文化.com を活用した情報発信 コーディネーターの配置による人材情報等の発信や発表の場を提供する地域アーティスト情報発信支援事業の実施（H18～） ネットミュージアム兵庫文学館（H14～）、ひょうご歴史ステーション（H17～）による情報発信</p> <p>[市町等] インターネットや情報誌等を活用した情報発信 〔西宮文学回廊・西宮美術回廊の開設（インターネット上）（西宮市）文化団体等の照会冊子の発行（加東市）等〕</p>	<p>各美術館、博物館、ホール等のHPの充実や、広報誌等の発行により、情報発信に取り組んでおり、スマートフォン等への対応も行っている。しかし、人材情報や発表・練習場所等の情報は十分とは言えない。また、より多くの県民に利用して頂くため、学校等での利活用について情報発信していく必要がある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域アーティスト情報発信支援事業 相談件数 H18 53件 → H25 205件 ネットミュージアム兵庫文学館アクセス件数（H25）128,997件 ひょうご歴史ステーションアクセス件数（H25）280,827件</p> </div>														
<p>交流の機会や場の整備、充実 ・あらゆる人々が芸術文化を契機として集い、交流できる機会や場の整備、充実</p>	<p>[県・県教育委員会] 県立美術館の空間を活かして音楽や舞台芸術とふれあうロビーコンサート等様々な芸術との融合事業の実施 横尾忠則現代美術館におけるオープンスタジオコンサートの実施 県域文化団体が主体となるふれあいの祭典の開催（H1～） 芸術文化センターの共通ロビー情報コーナーにおける企画展示</p> <p>[市町等] 市民公募型の企画事業の実施 〔三田市民演劇（三田市）夏の芸術祭（多可町）豊岡駅前上演会（豊岡市）等〕</p>	<p>美術館やホールの空きスペース等を活用した場の創設や、イベント等を通じた交流の場づくりを進めている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>県立美術館の「様々な芸術との融合事業」（H25） 83回 12,996人 県立美術館での主なイベント開催状況 エントランスホール等でのライブ演奏会 毎週土曜日 ミュージアムホールでの名画の上映 偶数月の第2金・土曜日 奇数月の第1金曜日 横尾忠則現代美術館でのオープンスタジオコンサート（H25） 17回 参加者数 1,799人 ふれあいの祭典全県フェスティバル参加者数 H17（北播磨）118,000人 H18（丹波）40,000人 H19（西播磨）85,000人 H20（淡路）41,000人 H21（但馬）113,000人 H22（阪神北）73,000人 H23（神戸）115,000人 H24（中播磨）113,000人 H25（阪神南）32,000人</p> </div>														
<p>青少年の指導者に対する芸術文化教育の場の提供 ・教員や社会教育関係者等青少年の指導者に対する芸術文化を活用した指導方法を教育する機会や場の提供</p>	<p>[県・県教育委員会] ピッコロ劇団員を指導者とする教職員研修の実施 学校教員向け解説会等を行う県立美術館元気づくり事業の実施（H20～） 歴史博物館、考古博物館等における教員セミナーの実施、学習プログラムの開発</p>	<p>各施設において教員向けセミナーの開催や、学校や地域に出向く指導にも取り組んでいる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>県立美術館による出前授業等のイベント実施回数（H25） 110回</p> </div>														

(3) 芸術文化を世界に発信する

[課題]・拠点施設を活用した世界に発信できる公演や展示の実施
・海外の拠点施設とのネットワーク化

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	今後の取組の方向性
<p>国際的な芸術文化事業の展開 ・県立美術館における国際的に評価される展覧会の実施、海外美術館とのネットワークを通じた作品や職員の交流 ・芸術文化センターにおける附属交響楽団の交流や独自の舞台芸術作品の国内外への発信</p>	<p>[県・県教育委員会] 芸術文化センターにおける芸術文化センター管弦楽団等による質の高い公演の実施 県立美術館における海外美術館とのネットワークを活かした特別展等の実施 [市町等] 世界的演奏家や芸術家を招聘した音楽祭やセミナーの開催 (ル・ボン姫路国際音楽祭・赤穂国際音楽祭(姫路市・赤穂市)、城崎国際芸術大学の運営(豊岡市)、ASAGO 国際音楽祭 2014(朝来市)等)</p>	<p>芸術文化センターや県立美術館等では、国際的にも評価の高い展覧会や公演を実施しており、市町では、姉妹都市との国際文化交流事業を中心に実施している。</p> <p>芸術文化センター管弦楽団実施公演回数(H25) 112公演 芸術文化センターにおける佐渡裕監督プロデュースオペラ・コンサートの公演 H26.7「コジ・ファン・トゥッテ」(センターほか県内4会場) H26.12 ジルヴェスター・ガラ・コンサート(開館10周年記念事業) 県立美術館における海外美術館と連携した展覧会(H26) H26.4~6「夢見るフランス絵画―印象派からエコール・ド・パリへ」展 H27.1~4「日本スイス国交樹立150周年記念 フェルディナント・ホドラ展」</p>
<p>海外への情報発信への支援 ・拠点施設を活用し、県内の芸術家や芸術文化団体による海外への情報発信を支援</p>	<p>[県・県教育委員会] 芸術文化センター、県立美術館等県立施設のホームページの多言語化 多言語によるメールマガジンや兵庫県紹介パンフレットの作成(H24~) 姉妹州省との周年事業における文化団体の派遣(H25 ワシントン州への淡路人形浄瑠璃の派遣) 兵庫県海外事務所による芸術家支援(H25 婦人手工芸協会のパリ展示会等) 文化庁芸術家海外研修制度の活用</p>	<p>情報通信技術が普及・発展するなか、HP等による情報発信は進んでいるが、海外を視野に入れた働きかけは十分とは言えない。</p> <p>多言語によるメールマガジンの発行(日本語・英語・中国語・韓国語)毎月1回 文化庁芸術家海外研修制度(H14~H25)29名</p>

【基本方向2】芸術文化の“場”を育て拡げる

(1) 地域で多様な“場”を育て拡げる

[課題]・家庭や学校、空き店舗や空き教室などあらゆる場所を活用して県民誰もが芸術文化を楽しめる“場”の拡充
・芸術文化の鑑賞者の開発や県民の芸術文化活動への支援

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価						
<p>芸術家が地域に出向くアウトリーチ事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわやかステージ事業の発展 ・アウトリーチ事業の全県的な推進 ・県立美術館や兵庫陶芸美術館における教員への啓発プログラムや子供向けワークショップの開催 	<p>[県・県教育委員会]</p> <p>「ひょうごさわやかステージ」への出演者の紹介等を行う地域アーティスト情報発信支援事業の実施（H18～）</p> <p>県民芸術劇場（学校公演・一般公演）（H3～）の実施</p> <p>ピッコロ劇団による演劇指導・ワークショップ等の開催</p> <p>芸術文化センター管弦楽団によるアウトリーチ活動の実施</p> <p>学校教員向け解説会等を行う県立美術館元気づくり事業の実施（H20～）</p> <p>兵庫陶芸美術館、歴史博物館、考古博物館等における教員セミナーや学習プログラムの開発</p> <p>[市町等]</p> <p>音楽や演劇の芸術家が学校や老人施設、病院等に出向くアウトリーチ事業や、アウトリーチ活動への助成の実施</p> <p>芸術文化アウトリーチ助成（神戸市）、伊丹市立劇場ホールアウトリーチ事業（伊丹市）</p> <p>アウトリーチ活動「おとのねシリーズ」（三田市）ハートラインコンサート&ワークショップ（多可町）等</p>	<p>学校現場や地域へのアウトリーチ活動は進んでいる。</p> <p>県立美術館や兵庫陶芸美術館をはじめ、各施設においても、教員向けの啓発プログラムや子供向けワークショップ等を実施している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>県民芸術劇場・県民文化普及事業の鑑賞者数（H25） 109,125人</p> <p>ピッコロ劇団員に演劇指導（H25）35事業 受講者数 3,319人</p> <p>芸術文化センター管弦楽団によるアウトリーチ活動（H25）27回</p> <p>県立美術館による出前授業等のイベント実施回数（H25） 110回</p> <p>兵庫陶芸美術館による出前授業、展覧会鑑賞学習等の実施校数（H25） 45校</p> </div>						
<p>あらゆる場の活用のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる場所を芸術文化の“場”として活用するための情報提供、相談指導、人材派遣の実施 	<p>[県・県教育委員会]</p> <p>各地域のアートプロジェクトの連携推進、共同広報等による情報発信を行うアート de 元気ネットワーク in 兵庫・神戸推進事業の実施（H26）</p> <p>県民に芸術文化活動の場を提供する県民交流広場事業の実施（H18～）</p> <p>神戸生活創造センター、東播磨生活創造センター、丹波の森公苑、文化会館等における芸術文化活動の場や情報の提供</p> <p>[市町等]</p> <p>空き施設や店舗等を活用した音楽イベントやアート展等の実施</p> <p>まちのアートステージ（神戸市）、あまがさき・みんなのアート展（尼崎市）、船坂ビエンナーレ（西宮市）、アートタウンプロジェクト（高砂市）、市民ロビーコンサート（姫路市）</p> <p>学校跡施設を活用した芸術文化の場の創設</p> <p>「のじまスコーラ」の設置、運営（（株）パソナふるさとインキュベーション）、おおやアート村ビッグ・ラボの設置・運営（NPO法人おおやアート村）</p>	<p>文部科学省が廃校施設の積極的な活用促進を図るなどの動きもあり、県内でも市町や民間企業やNPO法人による空き教室や空き店舗等を活用した事例が増えつつあり、今後も一層の利用が見込まれる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>廃校施設を芸術文化の振興に活用している例</p> <p><u>船坂ビエンナーレ（西宮市）</u></p> <p>旧船坂小学校跡地において、地域住民とアーティスト、ボランティアが一体となって、里山の自然とアーティスト、人を結ぶ芸術祭を開催し、地域活性化につながっている。</p> <p><u>おおやアート村BIG LABO（養父市）</u></p> <p>旧兵庫県立八鹿高等学校大屋校の施設を、大屋の地域資源（自然、モノ、コト、人など）と芸術資源を新しいまちづくりに結びつける「おおやアート村構想」の拠点施設として、芸術家の育成や地域の芸術文化活動の振興、まちづくりの活動が行われている。</p> </div>						
<p>高齢者や障害者の芸術文化活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設環境の整備や支援の仕組みづくり 	<p>[県・県教育委員会]</p> <p>いなみ野学園（S44～）、同大学院（H18～）、阪神シニアカレッジ（H9～）等地域高齢者大学における芸術文化活動の実施</p> <p>兵庫県障害者芸術・文化祭の開催（H17～）</p> <p>芸術文化センター、県立美術館、兵庫陶芸美術館等におけるバリアフリー化、障害者の入館割引、見やすい展示等鑑賞しやすい施設づくりの推進</p> <p>兵庫陶芸美術館と兵庫県生きがい創造協会との協定締結（H25.3）</p> <p>[市町等]</p> <p>各ホール等でのバリアフリー化、障害者の入館割引、見やすい展示等鑑賞しやすい施設づくりの推進</p> <p>障害者の作品展等の開催</p> <p>こころのアート展巡回展（朝来市）等</p>	<p>各施設では、鑑賞しやすい施設づくりを進めているが、案内表示や導線の工夫による高齢者や障害者への対応を図るとともに、受付等での施設職員の対応の充実を図り、支援の仕組みづくりを行っている。</p> <p>ソフト面では、高齢者や障害者の芸術文化活動を促す発表の場づくりが進んでいる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>いなみ野学園、阪神シニアカレッジ、地或高齢者大学、高齢者放送大学講座</p> <p>受講者数（H25）5,736人</p> <p>兵庫県障害者芸術・文化祭 参加人数（H25）4,700人</p> </div>						
<p>鑑賞者の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化施設や芸術文化団体とも連携した学習プログラムや制度の開発 	<p>[県・県教育委員会]</p> <p>ピッコロシアターにおける文化セミナー（S53～）や鑑賞劇場の開催</p> <p>芸術文化センターオペラ公演におけるワンコイン・プレ・レクチャーの実施、オペラ公演の県内巡回公演（H25 県内4公演）の実施</p> <p>芸術文化協会による兵庫県生活文化大学の開催（S56～）</p> <p>県立美術館における学芸員による作品解説会や文化ボランティアによるガイドツアーの実施</p> <p>[市町等]</p> <p>ホールの公演のプレイベントとして鑑賞者用セミナーの実施</p> <p>みつなか文化セミナー（川西市）等</p>	<p>本県では、全国と比較して芸術文化の鑑賞経験が豊富であり、各施設で、子供向けワークショップや学習プログラムの開発が進んでいる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>この1年間に芸術文化を鑑賞した人</p> <table border="1"> <caption>この1年間に芸術文化を鑑賞した人</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>鑑賞率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>62.8%</td> </tr> <tr> <td>兵庫県</td> <td>91.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>内閣府「文化に関する世論調査」（平成21年11月）</p> <p>県民モニター「第3回アンケート調査」（平成25年9月～10月）</p> </div>	地域	鑑賞率 (%)	国	62.8%	兵庫県	91.4%
地域	鑑賞率 (%)							
国	62.8%							
兵庫県	91.4%							

<p>県民の芸術文化活動への支援 ・活動の場、研修機会の提供、情報提供</p>	<p>[県・県教育委員会] 県内に拠点を有する芸術家を支援するひょうごの芸術文化育成・支援事業の実施(H18~) 県民へ芸術文化活動の場を提供するふれあいの祭典の開催(H1~) 県域文化団体が主体となる県民文化普及推進事業の実施(H18~) 国民文化祭派遣団体への支援(H1~) 芸術文化センター管弦楽団、ピッコロ劇団、ピッコロ演劇学校の運営 県立美術館美術講座の開催、美術情報センターによる情報提供</p> <p>[市町等] 市町独自の合唱団等の運営、活動の場作りの支援 〔神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団(神戸市)、西宮市吹奏楽団(西宮市)、伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団(伊丹市)等〕 市民音楽祭等の開催 〔尼崎市演劇祭(尼崎市)、西宮市民音楽祭(西宮市)、あかしのふれあいコンサート(明石市)、加西市文化祭(加西市)等〕</p>	<p>県民の芸術文化活動の発表の場の提供や、自主的な芸術文化活動に対する支援制度も多数運用されている。</p> <p>ひょうごの芸術文化育成・支援事業 実施件数(H25) 85件 県立美術館美術講座(H25) 17講座 438人受講 県立美術館美術情報センター利用者数(H25) 47,203人 芸術文化センター管弦楽団 コアメンバー(H25) 14パート48人 演奏会活動(H25) 24事業50公演 ピッコロ劇団 俳優(H26.4.1現在) 35人 公演(H25) 8事業53公演 ピッコロ演劇学校 卒業生数(S58~H25) 1,606人(本科+研究科) ピッコロ舞台技術学校 卒業生数(H4~H25) 647人</p>
---	---	---

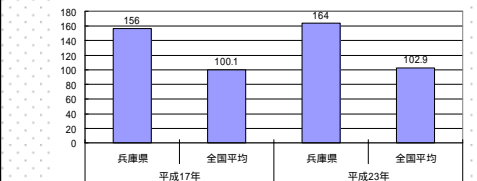
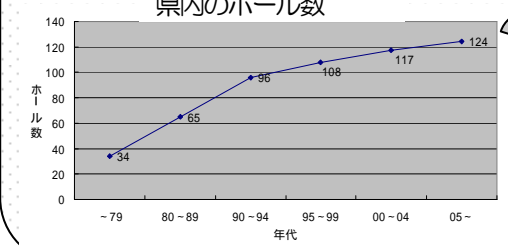
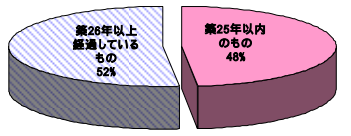
(2) 青少年が芸術文化に親しむ

- [課題]・青少年が芸術文化に親しむ機会の拡充
・児童生徒が学校教育の中で本物の芸術文化に親しむ機会の充実
・学校教育が芸術文化を取り入れやすい環境の整備
・芸術文化に対する親世代の理解促進

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価
<p>芸術家の学校現場への派遣 ・芸術家の学校への派遣 ・美術館・博物館の活用 ・教員のための啓発事業の推進 ・芸術文化を活用した学習プログラムや教材の提供</p>	<p>[県・県教育委員会] ピッコロ劇団等による県民芸術劇場(学校公演)(H3~)の実施 ピッコロ劇団による演劇指導・ワークショップ等の開催 学校教員向け解説会等を行う県立美術館元気づくり事業の実施(H20~)</p> <p>[市町等] 学芸員や芸術家を市内の学校へ派遣し、ワークショップや文化芸術の鑑賞体験等を実施 〔白髪一雄発信事業(尼崎市)、伊丹市立劇場ホールアウトリーチ事業(伊丹市)、みつなかオペラゲネプロ見学会(川西市)、ミュージアム出前授業(豊岡市)等〕</p>	<p>県立美術館や芸術文化センター等では、子ども向け事業の充実を図るとともに、アウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>県民芸術劇場(学校公演)(H25) 116公演(小・中・高等学校) 県立美術館による出前授業等のイベント実施回数(H25) 110回 兵庫陶芸美術館による出前授業、展覧会鑑賞学習等の実施校数(H25) 45校</p>
<p>芸術文化センター附属交響楽団による青少年公演の実施 ・県内全ての児童生徒を対象とした青少年公演の実施</p>	<p>[県・県教育委員会] 全公立中学校1年生を対象とした青少年芸術体験事業~わくわくオーケストラ教室~の実施(H18~) 中学生を対象としたピッコロわくわくステージの実施(H22~)</p>	<p>わくわくオーケストラ教室やピッコロわくわくステージが定着し、生徒が質の高い音楽や演劇に触れる機会が増加している。</p> <p>わくわくオーケストラ教室 全公立中学1年生を対象に実施(H25) 49,532人 ピッコロわくわくステージ 実施公演数(H26) 16公演/年間 (H25:12公演 4,031人)</p>
<p>芸術文化を活用した教育プログラムの企画・実施 ・長期休業等を活用した教育プログラムの企画、実施</p>	<p>[県・県教育委員会] 中学校総合文化祭、兵庫県高等学校総合文化祭の開催、近畿高等学校総合文化祭、全国高等学校総合文化祭への参加支援 兵庫陶芸美術館、歴史博物館、考古博物館等における長期休業等(夏休み等)を利用した体験プログラムの企画・実施</p> <p>[市町等] 〔各ホールや公民館等を活用した音楽や美術、演劇等のワークショップの開催 夏休み子ども教室(尼崎市)、プラスフェスティバル(西宮市)、美術ワークショップ(三田市)、夏休み親子歴史体験教室(高砂市)等〕</p>	<p>各施設では、子どもの来館促進や芸術文化にふれるきっかけづくりとして、多数の体験プログラムを実施している。</p> <p>中学校総合文化祭 参加校数 629校 兵庫県高等学校総合文化祭 参加人数 7,072人 近畿高等学校総合文化祭 派遣人数 257人 全国高等学校総合文化祭 派遣人数 430人</p>
<p>芸術文化を通じた世代間交流の促進 ・子供たちが地域の芸術家や様々な技能を持つ高齢者等との交流</p>	<p>[県・県教育委員会] 県民が伝統文化に親しむ伝統文化体験フェスティバルや伝統文化体験教室等を開催する伝統文化体験事業の実施(H18~)</p> <p>[市町等] 〔多様な世代が集まることのできるイベント等の実施 さとのね七夕フェスティバル(三田市)、敬老のうた、制作・発表事業(多可町)等〕</p>	<p>子どもが様々な技能を持つ高齢者と交流する事業は各地で実施しているが、伝統文化の継承に向けて、一層の事業拡充が望まれる。</p> <p>伝統文化体験フェスティバル参加者数(H25) 2,405人 伝統文化体験教室開催数(H25) 11回</p>
<p>親への啓発や親子交流の促進 ・親世代への啓発 ・親子で楽しめるプログラムや場づくり</p>	<p>[県・県教育委員会] ピッコロシアターにおける「0歳児からの劇場体験シアタースタート」の開催(H25~) ピッコロ劇団ファミリー公演(H11~)、兵庫陶芸美術館子育て世代向け陶芸ワークショップ(H17~)の実施</p> <p>[市町等] 〔親子で参加できるコンサートやワークショップの実施 親と子の郷土史講座(西宮市)、0歳児から楽しめる親子のための舞台芸術(川西市)、子ども・親子対象芸術鑑賞事業(明石市)等〕</p>	<p>親世代への啓発や親子で楽しめる事業は各地で実施しているが、伝統文化の継承に向けて、一層の事業拡充が望まれる。</p> <p>ピッコロ劇団ファミリー公演実施数(H25) 7公演 子育て世代陶芸ワークショップ参加者数(H25) 53人</p>

(3) 芸術文化施設を充実する

- [課題]・芸術文化施設が地域の芸術文化活動のコーディネーターとなった“場”づくりの支援
 ・市町合併の進展等に伴う芸術文化施設の役割分担など効果的な施設運営
 ・芸術文化施設の利便性の向上
 ・芸術文化施設の運営に対する文化ボランティアやNPO法人等の参画拡大

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価
<p>施設の整備 ・芸術文化施設の整備推進</p>	<p>[県・県教育委員会] 芸術文化センター、尼崎青少年創造劇場、兵庫陶芸美術館、県立美術館、横尾忠則現代美術館、原田の森ギャラリー、考古博物館、歴史博物館等芸術文化施設の整備推進 県立嬉野台生涯教育センター、文化会館等県民の活動拠点となる施設の整備推進</p> <p>[市町等] 美術館・博物館・ホール等芸術文化の創造拠点となる施設の整備推進 (神戸市立美術館(神戸市)、神戸アートビレッジセンター(神戸市)、郷土資料館(西宮市)、いなみ野音楽祭文化の森(稲美町)、城崎国際アートセンター(豊岡市)、あさこの森美術館(朝来市))</p>	<p>平成14年以降新たな県立施設もオープンし、県内の拠点施設の整備が進んだ。一方、既存施設の老朽化対策が今後の課題となっている。</p> <p>H14年度以降に整備された県立文化施設 H14 県立美術館 H17 芸術文化センター・兵庫陶芸美術館 H19 考古博物館 H24 横尾忠則現代美術館</p> <p>県内の博物館・美術館数</p>  <p>兵庫県の124ホール(300席以上)のうち 築26年以上経過しているもの52% 築25年以内のもの48%</p>  
<p>芸術文化施設の機能強化と市町合併への対応 ・芸術文化施設による芸術家の派遣や情報提供 ・各市町施設の役割分担やネットワークのあり方検討</p>	<p>[県・県教育委員会] 県内文化施設の情報交換を行う兵庫県公立文化施設協議会の設置(S37~) 公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者の連携を図る公共劇場舞台技術者連絡会の活用 芸術文化センター管弦楽団による県内ホールでの公演の実施</p>	<p>施設間の連携は進んでいるが、市町合併による複数施設の運営等の課題も新たに生じている。</p> <p>兵庫県公立文化施設協議会 加盟ホール数(H25) 39ホール 芸術文化センター県内ホールでの公演数(H25) 17公演</p>
<p>既存施設の活用促進 ・利用時間の規制見直し等による利用促進</p>	<p>[県・県教育委員会] 県立美術館、兵庫陶芸美術館における特別展会期中の金曜・土曜等の夜間開館の実施 県民会館の利用時間の延長(22時まで)(H18~)</p> <p>[市町等] ホール等の利用形態・サービスの見直しを実施 (ホール受付開始日の変更、駐車料金の上限設定(尼崎市)、施設予約システムの運用(川西市)等)</p>	<p>県内各施設で利用料金や開館時間の見直し、インターネットを利用した手続き等利用サービスの向上に向けた取組が進んでいる。</p> <p>県立美術館・兵庫陶芸美術館 夜間入館者数(H25) 5,983人</p>
<p>施設の効率的な運用と活性化 ・事業の共同企画・実施等による効率的な運営 ・指定管理者制度の適切な活用</p>	<p>[県・県教育委員会] 芸術文化センターにおける他地方公共団体との連携プログラムの実施 芸術文化センター、尼崎青少年創造劇場、横尾忠則現代美術館、嬉野台生涯教育センター、文化会館等における指定管理者制度の導入 芸術文化センターにおけるネーミングライツの導入(H20~)</p> <p>[市町等] 芸術文化施設の指定管理者制度の導入 伊丹市、川西市、高砂市、稲美町、加東市、姫路市、淡路市等</p>	<p>事業の共同企画等の連携に向けた取組が進みつつある。各施設の管理面では、指定管理者制度やネーミングライツを効率的に導入している。</p> <p>指定管理者制度導入施設 公募導入済：県民会館 公募導入予定：文化会館等 その他：尼崎青少年創造劇場・芸術文化センター・県立美術館王子分館</p>
<p>施設運営への住民参画の促進 ・文化ボランティアの研修や交流促進 ・成功事例の普及啓発、助言者の派遣支援</p>	<p>[県・県教育委員会] 文化会館、神戸生活創造センター、東播磨生活創造センター等における地域づくりに関する研修等の実施 博物館等で活躍するボランティアの養成、支援を行う生涯学習ボランティア活動総合事業の実施(H11~)</p> <p>[市町等] 学校、公民館等で活躍するボランティアの養成 (カルチャーライフお助け隊(淡路市))</p>	<p>文化会館等において文化ボランティアの育成支援を実施しているが、地域偏在の問題や、コーディネート機能の強化が課題である。</p> <p>生涯学習ボランティア活動総合事業 登録者数 H17 554人 → H25 1,578人 ※ 嬉野台生涯学習センター(H17)は除く</p>

【基本方向3】文化力を高め地域づくりに活かす

(1) 生活文化を高める

[課題]・生活に定着した芸術文化を重んじ、県民の生活様式の中に芸術文化的な価値を組み込む
・日本の伝統文化や伝統芸能等に親しめる機会の充実

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価
家庭や地域での芸術文化教育の充実 ・優れた芸術文化に触れる機会の拡大	[県・県教育委員会] 県民へ芸術文化活動の場を提供するふれあいの祭典の開催(H1~) 県内各地域の芸術文化活動を支援する県民文化普及推進事業(H18~) 県立明石公園における明石薪能復活事業の実施(H1~) [市町等] いけばな、能、民舞等様々な文化に触れるイベント等の実施 〔富松薪能(尼崎市)、観梅と野点の会(伊丹市)、川西おもろ能(川西市)、高砂民舞発表会(高砂市)、観桜会(稲美町)等〕	日常生活において芸術文化を活かす機会の低下が、昨今懸念されるが、市町では地域独自の伝統文化を体験する様々な機会を設けており、県では各地の独自の取組を支援する制度を実施している。 県民文化普及推進事業(ふれあいの祭典全県文化事業) 参加者数(H25) 45,148人
伝統文化や伝統芸能などの継承、発展 ・青少年に対する教育プログラムの充実 ・後継者の育成、発表の場の提供	[県・県教育委員会] 伝統文化体験フェスティバルや伝統文化体験教室など県民が伝統文化に親しむ場を提供する伝統文化体験事業の実施(H18~) 郷土伝統文化継承推進校(県立高校4校)の指定 [市町等] 茶道、生け花、能楽、琴等伝統文化に関する子ども向け教室、ワークショップ等の開催 〔宮水ジュニア事業(西宮市)、子ども狂言ワークショップ(高砂市)、小学生チャレンジスクール(加東市)、レッツ!!トライある文化(淡路市)等〕 〔子どもによる伝統芸能の発表会、公演会等の開催〕 〔子ども歌舞伎クラブの育成(佐用町)、南あわじ子ども伝統芸能発表会(南あわじ市)等〕	県、市町ともに地域の伝統文化の継承・発展には力を入れて取り組んでいるが、後継者の育成が課題となっている。 伝統文化体験フェスティバル参加者数(H25) 2,405人 伝統文化体験教室開催数(H25) 11回 郷土伝統文化継承推進校での取組 播州歌舞伎・出石焼・淡路人形浄瑠璃・千種太鼓
世代間交流による伝統文化や伝統芸能などの育成 ・地域の特色を活かした伝統文化の継承	[県・県教育委員会] 地域の特色ある芸術文化振興事業の実施(H18~) 高校生が地域の行事等に参画する高校生ふるさと貢献活動事業の実施(H25~) 市町の文化団体と連携した HANAKITA こども文化フェスタの開催(H21~) 全国の人形浄瑠璃後継者団体等連携した淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会の開催 [市町等] 伝統文化親子事業や、伝統文化に関する世代間交流事業の補助等の実施 〔伝統文化親子教室事業(芦屋市)、伊丹太鼓の会補助事業(伊丹市)、民族芸能保存団体補助事業(新温泉町)〕	県、市町ともに地域の特色を活かした世代間交流事業を実施しているが、地域への愛着やふるさと意識を深める意識的な取組が必要である。 県民モニター「第3回アンケート調査」結果(平成25年9月~10月) 地域の文化的環境を充実させるために必要なもの(複数回答可) 子どもが芸術文化に親しむ機会: 49.9% 公演、展覧会、芸術祭等の文化事業: 47.5% 地域の伝統芸能や祭り等の継承・保存: 45.2%

(2) 地域特性を発揮して文化力を高める

[課題]・地域住民自身による地域資源の見直し、価値の再認識
・地域の文化資源の適切な保存・継承
・地域独自の新しい芸術文化の創造・発展に向けた機運の醸成や仕組みづくり
・地域特性を活かした芸術文化活動を担う人材育成、環境整備

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価																				
地域住民に対する地域文化の普及、啓発 ・地域文化に対する学習機会の提供、先進的な取組の紹介	[県・県教育委員会] 地域の魅力の再発見につなげる最古の登窯復興と丹波焼の活性化プロジェクト(H26~)、黒田官兵衛・播磨国風土記関連文化財を活かした地域再発見事業(H26~)、里山アートの創出(H26~)、銀の馬車道プロジェクト(H19~)、淡路人形浄瑠璃魅力発信事業等の実施 [市町等] 地域の文化財や歴史遺産の維持、魅力開発のためのイベント等の実施 〔歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業(尼崎市)、西宮酒ぐらルネッサンスと食フェア(西宮市)、川西市源氏まつりの開催(川西市)、申義堂、旧入江家の活用(高砂市)、播磨町大仲遺跡まつり(播磨町)、五斗長ウォーキングミュージアム(淡路市)等〕	各県民局や市町が中心となり、地域独自の文化の再発見、育成、普及、につなげる事業を多数実施しているが、県民意識調査の結果では地域差がみられる。 平成25年度「兵庫の豊かさ指標」県民意識調査結果より 住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合 47.5%(全県) <table border="1"> <tr> <td>神戸</td> <td>阪神南</td> <td>阪神北</td> <td>東播磨</td> <td>北播磨</td> <td>中播磨</td> <td>西播磨</td> <td>但馬</td> <td>丹波</td> <td>淡路</td> </tr> <tr> <td>44.7</td> <td>41.0</td> <td>52.8</td> <td>44.4</td> <td>42.9</td> <td>62.1</td> <td>51.8</td> <td>61.3</td> <td>50.8</td> <td>37.0</td> </tr> </table>	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	44.7	41.0	52.8	44.4	42.9	62.1	51.8	61.3	50.8	37.0
神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路													
44.7	41.0	52.8	44.4	42.9	62.1	51.8	61.3	50.8	37.0													
地域の文化資源の活用支援 ・地域の文化財の保存・継承 ・地域のニーズに応じた相談指導や人材育成、体制づくりの支援	[県・県教育委員会] 地域の文化資源を活用した芸術文化を支援するふるさと芸術文化発信サポート事業の実施(H18~) 文化財の保存、継承に向けた文化財活用支援事業(H23~)、埋蔵文化財受託調査事業等(S51~)等の実施 [市町等] 地域の文化財や歴史遺産を活用したイベント等の実施 〔西宮人形劇まつり(西宮市)、後藤又兵衛展(加西市)、柳田國男検定(福崎町)等〕	各地域独自の文化財の保存継承に向けた取組や、それらを活用した人材育成等を行っている。 県では登録文化財数が全国1位となるなど、文化財の保存・調査に力を入れて取り組んでいる。 ふるさと芸術文化発信サポート事業(H25) 29件 国登録文化財件数(登録有形文化財・登録有形民俗文化財・登録記念物) H26.6.1 現在 1 兵庫県 587件 2 大阪府 561件 3 京都府 447件																				

(3) まちづくりを進める

[課題]・地域の文化資源等を活用した芸術文化活動による地域の個性やイメージの戦略的な発信
 ・地域の文化資源等を活用した芸術文化あふれる地域空間の形成促進

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価
地域の文化力などを活用したまちづくりの推進と地域の個性・イメージの発信 ・特色ある地域の芸術文化活動の展開 ・戦略的な広報の展開	[県・県教育委員会] 地域の魅力の再発見、イメージの発信につなげる最古の登窯復興と丹波焼の活性化プロジェクト(H26～)、黒田官兵衛・播磨国風土記関連文化財を活かした地域再発見事業(H25～)、銀の馬車道プロジェクト(H19～)、淡路人形浄瑠璃魅力発信事業等の実施 阪神淡路大震災でにぎわいを失ったまちの再生にむけた地域の特色ある取組を支援するまちのにぎわいづくり一括助成の実施(H18～) 地域の魅力を内外に発信するイベント等を支援する阪神南イメージアップ開催支援事業の実施(H20～) [市町等] 地域の文化力を活かしたイベント等の実施 (こうべアート街道(神戸市)、神戸ジャズストリート(神戸市)、ASPIA ミュージックプログラムナード(明石市)、龍野アートプロジェクト刻の記憶 Arts and Memories(龍野市)等)	各県民局や市町が中心となり、地域の文化資源等を活用したイベントを多数実施しているが、個性やイメージを外に向かってより発信するために、ICT等を活用した積極的な情報発信が求められる。 丹波焼きの里魅力発信事業(H26～) 兵庫陶芸美術館・丹波立杭陶磁器協同組合・立杭陶の里・こんだ薬師温泉・自治会等が連携し「最古の登窯復興と丹波焼の里活性化推進委員会」を設立。ガイドツアーや公演会・展示会・修復見学会等を通して丹波焼きの魅力を発信する。
伝統文化等を活用した地域の一体化や活性化の促進 ・地域間・世代間の交流行事、地域活性化行事の実施	[県・県教育委員会] 芸術文化センターが地元商店街等と連携し西北活性化協議会を開催し、地域のにぎわいづくりを創出する地域連携・にぎわいづくり事業の実施 地域の歴史文化遺産、芸術文化を活用し、活性化を促進するジャズシティ・KOBЕ推進事業(H24～)、銀の馬車道プロジェクト(H19～)、西播磨オータムフェスタ in 光都(H23～)、鉾石の道プロジェクト(H17～)、シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」(H23～)、淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会等の実施・支援 [市町等] 地域の歴史文化遺産、芸術文化を活用し、活性化を促進するイベント等の実施 (神戸ピエンナーレ(神戸市)、新開地アートビレッジ構想の推進(神戸市)、ふるさと創造会議事業(加西市)、歴史文化活性化事業(香美町)等)	各市町等が中心となり、地域の文化資源等を活用した交流行事等を多数実施しているが、今後の事業継承と定着が課題である。 「ジャズシティ・KOBЕ」の推進(H24～) 神戸ブランドのひとつ「ジャズ」を活かして街のにぎわいを創出するため、ジャズに関連する様々なイベントを実施 ・HAT 神戸等でのジャズイベントの開催 ・第6回六甲山夜景ジャズライブの開催 ・スイングナイト in KOBЕ 事業の実施 銀の馬車道プロジェクト(H19～) 明治初期、生野銀山と飾磨津(現姫路港)の間約49kmを南北に結ぶ馬車専用道路として作られた「銀の馬車道」を文化資源として活用し、交流の促進や観光の活性化、地域の元気づくりを進めている。 ・人情喜劇「銀の馬車道」の制作・公演 ・未来遺産「銀の馬車道」の伝承(小学生対象の学習会等) ・地元住民・子ども参加型イベントへの支援
芸術文化を活用した街並みや景観づくりの促進 ・芸術文化あふれる街並みや景観づくり	[県・県教育委員会] ミュージアムロード周辺地域での震災復興20年事業の展開(H26～) 景観形成地区等を指定する取組の推進(S60～) [市町等] 地域の芸術文化を活かした街並みや景観づくりの推進に向けた事業の実施 (船坂ピエンナーレ(西宮市)、鳴く虫と郷町実行委員会(伊丹市)、たかさご万灯祭(高砂市)、北条の宿はくらんかい(加西市)、丹波篠山まちなみアートフェスティバル(篠山市)等)	各市町では地域の文化資源をまちなみづくりにつなげる取組を実践している。 ミュージアムロードの推進 横尾忠則現代美術館・王子動物園から県立美術館までの道路を「ミュージアムロード」と名付け、神戸県民局、県教育委員会(県立美術館)、神戸市、地元商店等が連携し、地域の内外から多くの人が集まる魅力あふれる文化ゾーンにする取組を展開 ・周濠の設置、現代美術家による作品の設置 ・「美かえるプロジェクト」の推進 (美カエルカラーで周辺地域を彩る賑わいの創出 等)

(4) 産業づくりを進める

- [課題]・芸術文化産業の育成や芸術文化による既存産業の活性化
- ・情報ネットワーク技術を活用した付加価値の高い産業づくり
 - ・芸術文化を活用したツーリズム振興の新たな展開
 - ・地域経済を支えてきた産業技術や産業遺産を産業文化として活用
 - ・優れた技能を持つ職人(匠)の評価と後継者育成

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価																											
<p>伝統文化を活用した新産業の創出と既存産業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化を活用した新たな産業の創出、既存産業の高度化・活性化 ・ITを活用した伝統文化に関する情報発信 ・芸術文化のコンテンツ産業化 	<p>[県・県教育委員会]</p> <p>有馬の人形筆、杉原紙、淡路鬼瓦等 23 品目を県伝統工芸品に指定 (H4～)</p> <p>小野の算盤珠、淡路の手延素麺、播州織など県内の地場産業を支援するじばさん兵庫ブランド創出支援事業の実施 (H25～)</p> <p>皮革素材の新たな市場開拓や技術力向上を支援する皮革産業需要開拓の推進</p>	<p>県内の伝統工芸品や地場産業等の価値をより高める技術やデザイン、サービスとの融合、ICT等を活用した効果的な広報が求められる。</p> <p>ひょうごの地場産業が独創的なアイデアでブランド力を高めた事例</p> <p>「線香」の新しい魅力発見(淡路): 全国シェア約7割を占める淡路市一宮地区で、地元商工会と協同組合が協働してプロジェクトを設立。香りの本場フランスをはじめ海外での販路開拓に取り組み、仏事用という固定概念を超え、生活の中の「お香」として展開している。</p>																											
<p>芸術文化を活用したツーリズム産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化資源のネットワーク化 ・フィルムコミッションとの連携 	<p>[県・県教育委員会]</p> <p>県内へのロケ地誘致を進めるひょうごロケ支援 Net 事業の実施 (H18～)</p> <p>官兵衛情報発信事業の実施 (H26～)</p> <p>観光関連団体主体となり実施する観光資源の発掘や魅力づくり等の取組を支援するふるさと魅力づくり支援事業の実施 (H26～)</p> <p>[市町等]</p> <p>ロケ地誘致事業の実施</p> <p>〔 神戸フィルムオフィス事業 (神戸市)、高砂市フィルムコミッション (高砂市) 等文化資源を活かしたツーリズム振興の推進 〕</p> <p>〔 六甲ミーツ・アート芸術散歩 (神戸市)、西宮まちたび博 (西宮市) 等 〕</p>	<p>県では、旧五国 (摂津・播磨・但馬・丹波・淡路) の各地域が歴史、文化、芸術、自然等の多彩な資源を活かして交流人口の増加を目指すひょうごツーリズム戦略を策定したところである。市町と連携したロケ支援ネット等によるロケ地誘致活動も積極的に取り組んでいる。</p> <p>兵庫県の観光客入込数 12,126 万人 (H24)</p> <p>ひょうごロケ支援ネットにおける主な支援作品</p> <table border="1" data-bbox="2071 835 2822 1178"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>撮影場所</th> <th>公開年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">映画</td> <td>ゲノムハザード</td> <td>県立美術館 (神戸市)</td> <td>2014年</td> </tr> <tr> <td>少年H</td> <td>ニッケ社宅 (加古川市) 神戸市内</td> <td>2013年</td> </tr> <tr> <td>夏の終わり</td> <td>ニッケ社宅 (加古川市) 淡路島各所</td> <td>2013年</td> </tr> <tr> <td>阪急電車</td> <td>阪急今津線沿線 (西宮市・宝塚市内各所)</td> <td>2011年</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">TVドラマ</td> <td>軍師官兵衛</td> <td>書写山圓教寺 (姫路市)</td> <td>2014年</td> </tr> <tr> <td>とんび</td> <td>赤穂折方河川敷 (赤穂市)</td> <td>2012年</td> </tr> <tr> <td>平清盛</td> <td>砥峰高原 (神河町)</td> <td>2012年</td> </tr> </tbody> </table>			撮影場所	公開年	映画	ゲノムハザード	県立美術館 (神戸市)	2014年	少年H	ニッケ社宅 (加古川市) 神戸市内	2013年	夏の終わり	ニッケ社宅 (加古川市) 淡路島各所	2013年	阪急電車	阪急今津線沿線 (西宮市・宝塚市内各所)	2011年	TVドラマ	軍師官兵衛	書写山圓教寺 (姫路市)	2014年	とんび	赤穂折方河川敷 (赤穂市)	2012年	平清盛	砥峰高原 (神河町)	2012年
		撮影場所	公開年																										
映画	ゲノムハザード	県立美術館 (神戸市)	2014年																										
	少年H	ニッケ社宅 (加古川市) 神戸市内	2013年																										
	夏の終わり	ニッケ社宅 (加古川市) 淡路島各所	2013年																										
	阪急電車	阪急今津線沿線 (西宮市・宝塚市内各所)	2011年																										
TVドラマ	軍師官兵衛	書写山圓教寺 (姫路市)	2014年																										
	とんび	赤穂折方河川敷 (赤穂市)	2012年																										
	平清盛	砥峰高原 (神河町)	2012年																										
<p>産業遺産や産業文化の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業遺産を文化として捉えた学習の仕組みづくり、ツーリズム資源としての活用 	<p>[県・県教育委員会]</p> <p>湊川隧道など兵庫区の近代化産業遺産を巡るツアーの実施 (H26～)</p> <p>県民局、周辺市町、企業等が連携した銀の馬車道プロジェクト (H19～)、鉱石の道プロジェクト (H17～) の推進</p> <p>[市町等]</p> <p>ひょうごツーリズム協会によるひょうごツーリズムバス制度の導入など産業ツーリズムの推進</p> <p>コンテンツ産業の振興に寄与する事業の実施</p> <p>〔 「アニメーション神戸」等の開催 (神戸市) 〕</p>	<p>文化資源の新たな掘り起こしや捉え直しにより、産業遺産を文化資源として活用する動きが高まっており、今後の地域の魅力発信への活用が期待できる。</p> <p>県内の産業ツーリズム等施設コース数 (累計) 300 コース (～H25)</p> <p>県内の産業遺産 (経済産業省認定) 40 箇所</p> <p>尼崎市: 山岡発動機 (現: ヤンマー) の内燃機関等</p> <p>神戸市: 旧和田岬灯台</p> <p>たつの市: 龍野の醤油醸造業関連遺産 等</p>																											
<p>職人 (匠) の技能の継承と後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能後継者の顕彰 ・青少年への技能の紹介 	<p>[県・県教育委員会]</p> <p>職人の技能を顕彰するひょうご No.1 ものづくり大賞の実施 (H24～)</p> <p>地場産業の開発や人材育成を支援するものづくり企業在職者の技能向上、地場産業需要開拓支援事業やじばさん兵庫ブランド創出支援事業の実施</p> <p>職人の技の青少年への継承を図るものづくり体験館体験事業 (H24～)、「ひょうご匠の技」探究事業 (H18～)、「ひょうごの達人」招聘事業 (H19～) の実施</p> <p>[市町等]</p> <p>地域の芸術家を講師とした講座やプログラムの実施</p> <p>〔 宮水ジュニア事業 (西宮市) こども狂言塾 (加西市)、レッツ!!! トライある文化 (淡路市) カルチャーライフお助け隊 (淡路市) 〕</p>	<p>本県のものづくり県の特性を生かして、県内の優秀な技術や技能の伝承を行う地道な取組を行っている。</p> <p>・ものづくり大学校訓練実施者数 (H25) 2,034 人</p> <p>・「ひょうごの匠」認定数 (H25) 27 人</p> <p>・ものづくり体験学習実施数 (中学生の団体利用) (H25) 12,305 人</p> <p>・ものづくり体験講座実施数 (小中学生、一般の利用) (H25) 113 企画</p>																											

【基本方向4】 みんなで支え、総合的に取り組む

(1) 県民自らが芸術文化を支え育てる [課題]・県民一人一人や芸術文化団体、企業などの参画と協働の促進
・県民、企業、行政が一体となった芸術文化の支援

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価												
<p>県民等の参画と協働の促進 ・文化ボランティアやNPO法人の育成</p>	<p>[県・県教育委員会] 地域の文化ボランティア等を支援するひょうごボランティア基金助成事業(H14～) 地域づくり活動応援事業(H15～)の実施 登録したボランティアが社会教育施設等で活躍する生涯学習ボランティア活動総合事業の実施(H1～) 芸術文化活動を通じて被災者の心の復興を支援するがんばろう東日本!アート支援事業の実施(H23～) [市町等] NPO等への助成・支援 (非営利活動法人芸術と計画会議(C.A.P)(神戸市) 市民活動バックアップ補助金(加古川市)等) 文化会館等におけるボランティアスタッフの育成・活用 (文化財保存活用サポートボランティア養成事業(尼崎市) 文化ボランティア(稲美町) 市民ボランティアの育成(三田市)) 市民による文化ホール事業の企画・実施など、市民参画による事業の推進 (演劇ワークショップ・発表会(神戸市) 市民参加型芸術文化事業(伊丹市) 三田市民演劇(三田市) ささやま市民ミュージカル(篠山市)等)</p>	<p>県内では、全体としてボランティアへの助成や、ボランティアの育成・活用への動きが高まっており、助成制度や支援する仕組みが整っている。 一部の市町では、市民が舞台の企画・運営・制作・出演まで行う等、先進的な取組も見られる。</p> <table border="1" data-bbox="2033 640 2864 829"> <tr> <td>ひょうごボランティア基金助成件数(H25)</td> <td>3,493件</td> </tr> <tr> <td>地域づくり活動応援事業助成件数(H25)</td> <td>263件</td> </tr> <tr> <td>生涯学習ボランティア活動総合事業 登録者数(H25)</td> <td>1,578件</td> </tr> <tr> <td>がんばろう東日本!アート支援事業(H25)</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>認証NPO数(H26.3.31現在)</td> <td>1,299法人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 29.3%)</td> </tr> </table>	ひょうごボランティア基金助成件数(H25)	3,493件	地域づくり活動応援事業助成件数(H25)	263件	生涯学習ボランティア活動総合事業 登録者数(H25)	1,578件	がんばろう東日本!アート支援事業(H25)	7件	認証NPO数(H26.3.31現在)	1,299法人	(学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 29.3%)	
ひょうごボランティア基金助成件数(H25)	3,493件													
地域づくり活動応援事業助成件数(H25)	263件													
生涯学習ボランティア活動総合事業 登録者数(H25)	1,578件													
がんばろう東日本!アート支援事業(H25)	7件													
認証NPO数(H26.3.31現在)	1,299法人													
(学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 29.3%)														
<p>企業メセナ、個人メセナの促進 ・顕彰や啓発を通じた企業メセナの促進、個人メセナの活発化</p>	<p>[県・県教育委員会] 芸術文化協会における企業メセナ協議会の窓口の開設(H16～) 民間の文化財団等が設置する制度の活用 芸術文化センターにおけるネーミングライツの導入(H20～) 公演への民間資金の導入 芸術文化センター、ピッコロシアターによる賛助会員制度等の導入 [市町等] 企業メセナと個人メセナを促進する賛助会制度の創設(尼崎市)</p>	<p>企業による芸術文化振興は社会貢献意識の高まり等により進んできているが、個人メセナの活動は少ない。</p> <table border="1" data-bbox="2033 997 2864 1081"> <tr> <td colspan="2">がんばろう東日本!アート支援事業</td> </tr> <tr> <td colspan="2">マッチングファンド方式により経費の1/2を支援</td> </tr> </table>	がんばろう東日本!アート支援事業		マッチングファンド方式により経費の1/2を支援									
がんばろう東日本!アート支援事業														
マッチングファンド方式により経費の1/2を支援														
<p>ビジョンの推進組織の設置 ・幅広い主体が参画した組織の設置</p>	<p>[県・県教育委員会] 芸術・文化関係者、学識経験者等幅広い主体が参画する兵庫県文化懇話会の開催(H1～) [市町等] 芸術・文化関係者、学識経験者等による文化振興審議会の開催(高砂市)(H23～)</p>	<p>県では毎年文化懇話会を開催し、県民文化の高揚・振興策などについて広く意見を求めるなど芸術文化振興ビジョンの推進に取り組んでいる。</p> <table border="1" data-bbox="2033 1165 2864 1270"> <tr> <td colspan="2">兵庫県文化懇話会の開催(H25)</td> </tr> <tr> <td>委員数</td> <td>116人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">全体テーマ: これからの芸術文化振興について</td> </tr> </table>	兵庫県文化懇話会の開催(H25)		委員数	116人	全体テーマ: これからの芸術文化振興について							
兵庫県文化懇話会の開催(H25)														
委員数	116人													
全体テーマ: これからの芸術文化振興について														

(2) 連携体制を整備する

[課題]・総合的・継続的に芸術文化の振興に取り組むための国、県、市町間の連携体制の整備
 ・国や民間文化団体の財源等も活用した芸術文化振興のための財源確保

「芸術文化振興ビジョン」の展開方向	基本方向に対する主な取組結果	評価
芸術文化振興に関する県行政の連携体制の整備、評価体制の確立 ・効果的な連携体制の整備 ・事業や施設の成果の常時点検、見直し	[県・県教育委員会] 芸術・文化関係者、学識経験者等幅広い主体が参画する兵庫県文化懇話会の開催（H1～） 文化振興議員連盟と県行政との意見交換会の実施 県立美術館・博物館広報連絡会の開催 県、県民局、県教育委員会、神戸市等が連携した事業の実施	県、教育委員会、市町等の連携により、学校現場や地域に密着した事業運営を進めている。 連携事業 青少年芸術体験事業～わくわくオーケストラ教室～、ミュージアムロードの活性化、ミュージアムスタンプラリー、神戸ピエンナーレ、アートde元気ネットワークin兵庫・神戸推進事業等
芸術文化振興のための財源の確保 ・国や団体などの支援制度の活用	[県・県教育委員会] (財)地域創造が実施する地域の文化・芸術活動支援事業や、文化庁が実施する劇場・音楽堂等活性化事業等各種事業の活用推進 日本芸術文化振興会が実施する芸術文化振興基金の活用推進 [市町等] 行政、市民、企業が連携して芸術文化を支えるための基金の創設 [神戸市市民文化振興基金（神戸市）]	国や団体が実施する支援制度の充実に伴い、県内事業の採択数も増加しており、効果的な活用を進めている。 (財) 地域創造助成活動事例（H25） 芸術文化センター「子どものためのバレエ（ねむれる森の美女）」等（県内5事業） 文化庁劇場・音楽堂等活性化支援事業助成活動事例(H25) 「佐渡裕&スーパーキッズオーケストラ」東北公演等 県内 12 事業 ※H25 は全国 53 事業のうち芸文センター12 事業 H26 は全国 56 事業のうち芸文センター16 事業
国や市町、関係団体との連携体制の確立 ・国や市町・関係団体との的確な連携体制の確立	◆ 「関西文化の日」の開催など関西広域連合 2 府 5 県の協働による文化振興事業の推進(H22～) ◆ 兵庫県地域文化団体協議会への支援	東京オリンピックや関西ワールドマスタースゲームズに合わせた文化力の強化を目指す国や広域連合との連携体制づくりが始まっており、今後、新たな取組が必要である。 H25.9 関西広域連合文化振興指針「文化首都・関西」ビジョン策定 H26.3 関西広域連合広域計画策定 重要方針 (1) 関西文化の振興と内外への魅力発信 (2) 連携交流による関西文化の一層の向上 (3) 関西文化の次世代継承と人材育成 (4) 情報発信・連携交流支援・人づくりを支える環境（プラットフォーム）づくり

現行ビジョンの検証総括

1 次のものは概ね目的を達成できているが、いずれも芸術文化振興の根幹をなす事業であることから、引き続き取組を進めていく。

- 芸術文化を担う人材の育成
- 芸術文化事業の企画・実施
- 芸術文化を通じた交流の機会や場の整備、充実
- 芸術家が地域や学校に出向くアウトリーチ事業の推進
- 県民の芸術文化活動への支援
- 青少年が芸術文化に親しむ機会の提供
- 芸術文化施設の整備 など

2 次のものは、目的を一部達成できていないものがあり、今後の方策について、検討を進める必要がある。

- 芸術文化情報の県内外、世界への発信
- 施設運営への住民参画の促進
- 伝統文化や伝統芸能などの継承・発展
- 伝統文化を活かした地域の活性化や産業分野への活用
- 企業メセナ・個人メセナの活用
- 国や市町・関係団体との連携体制の整備 など